

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第2回 和泉市生涯学習推進委員会
開催日時	平成30年 3月14日 (水) 午後2時30分から
開催場所	和泉市コミュニティセンター1階中集会室
出席者	別紙名簿のとおり (10/10名出席)
会議の議題	<p>■案件</p> <p>(報告事項1) ①平成29年度いずみ市民大学の実績報告について ②平成30年度いずみ市民大学の状況について</p> <p>(報告事項2) ①学友会の活動状況について ②カルチャーフェスティバルでのブース出展の報告について</p> <p>■意見交換 (各種団体の活動について)</p> <p>■その他</p>
会議の主旨	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
その他の必要事項	

■ 審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（事務局より会議開催についての説明）

本会議は公開することとなっているが、本日の会議は傍聴希望者がいないことを報告。携帯電話は、地震発生の際、緊急地震速報を受信する可能性があるため、電源は切らずに、マナーモードにすることを依頼。

会議資料の確認

教育長挨拶

事務局より出席委員数の確認

委員総数10名のうち、出席委員10名、欠席者0名となっており、和泉市生涯学習推進委員会規則第6条の規定に基づき本会議は成立していることを報告。

案件

（報告事項1-①）「平成29年度いずみ市民大学の実績報告について」

事務局から資料1平成29年度いずみ市民大学 実績報告書、資料2～4平成29年度の市民大学各学部パンフレットに従い説明。

《まちづくり学部》

定員(各25人)に対する受講者数(充足率)、卒業生数について報告(資料1参照)

《教養学部》

前期6講座、後期6講座を実施(開講中あり)。延べ講義数、前期・後期各講義の定員50名に対する申込者数について報告。

（報告事項1-②）「平成30年度いずみ市民大学の状況について」

事務局から、資料5平成30年度いずみ市民大学まちづくり学部パンフレット および資料6平成30年度いずみ市民大学教養学部【前期】パンフレット に従い説明。

- ・まちづくり学部の受講生申込状況：エリア学科7人、テーマ学科10人(3月14日現在)
- ・平成30年度の開講式：学科合同で6月2日(土)に実施。学部トータルコーディネーターの宝楽陸寛氏によるオリエンテーション実施予定。
- ・エリア学科・テーマ学科の外部講師について紹介(資料5・6参照)
- ・7月7日実施の第3回講義は、有料の公開講座として聴講生を募集する予定。
- ・教養学部前期の受講生申込状況(3/14現在)
「ニュース・事件で考える法」12人、「『源氏物語』をあちこちに読む」39人、
「昭和歌謡の文化社会学」32人、「心理学からみた現代」39人、「『翔ぶが如く』解説」72人、
「ピアノ音楽をめぐって」54人(タイトル略)

事務局：平成30年度の受講生募集の宣伝については、広報いずみ3月号トピックスにて1ページもらっている。パンフレットのページを増やすことも考えたが、予算不足のため、次の年度で対応したいと考えている。また、各種団体の総会でもパンフを配布させてもらう。

(報告事項2-①) 学友会の活動状況について

委員長：学友会の会長として報告する。「知の循環」を形にするため、まちづくり学部卒業生で学友会を作った。卒業生70人中50人程が活動している。後で説明するが、事務局にカルチャーフェスティバルでの場所を確保してもらい、報告の場を作った。また、2ヶ月に1度会合を開いたり、外で活動したりしている。

委員：カフェオアシスで会合をしている。内容は学びあいで、それぞれ自分たちの活動を教えあっている。2期生が受講中から関わることもしてきた。活動の中心になっているのは子育て世代の方達で、自分たちの年代はそこに参加させてもらっているような感じ。カルチャーフェスティバルのブースもかなりやり取りをしながら、作っていった。11月にあった「いつくしみ市」で、メンバーの作ったとうもろこしで作ったポップコーンを販売したこともある。

委員：部活動も行っている。当初、卒業したものの何をしたいかわからない人もたくさんいたと思う。途中から学友会に来なくなった人も多く、理由を考えると、何かするための場所がないからではと。そこから、どうせなら部活動を作ろうとなった。その中の広報部が立ち上げたのが、カルフェスのブース出展。企画が動き出したら部に関係なく人が集まって来た。

委員：まちづくり学部は、教養学部比べて抽象的だが、部活動を作ることでより学んだことを実践する場ができた。これを上手く外にアピールできれば、次期受講生の獲得に繋がるのではないかな。

委員長：学友会から事務局にお願いがある。受講できなかった講義をもう一度受けたい時に、次の年にその講義を受け直せるように一度検討してほしい。

事務局：次年度の講義内容は未定であり、同じ内容になるかは分からない。来年度の内容もかなり変わってきている。先日、ツタヤから講義のネット配信をしないかという話があったが、まちづくり学部は顔を合わせた実践型講義形式なのであまりそぐわないという印象があった。教養学部では出来るかもしれないが、初期投資も高く、ランニングコストもどのくらい掛かるか分からない。管理公社が検討中だがどう進むか未定。技術が進んでいけば選択肢の一つになる。

委員：録画するのは講師の許可を得るのが難しい。配信になるともっと大事になる。映像を見てもらう部屋を作り、そこで見てもらえばいいのではないかなという話も出ている。

委員：参加できなくても、ホワイトボードミーティングなどをやっているところを見るのも面白いのではないかな。費用面など可能であれば議会中継のようなことができれば良い。

(報告事項2-②) カルチャーフェスティバルでのブース出展の報告について (資料7参照)

【事務局が当日の様子を簡単に説明の後、委員が補足説明】

事務局：既に話の中に出ているが、3月10日、11日に和泉シティプラザでは生涯学習センター主催のカルチャー教室の発表会、カルチャーフェスティバルが行われた。今年は会場内に、学友会がブースを設置し、活動発表と次年度の受講生募集の宣伝を行った。2日間で80人ほどが訪れた。

委員長：学友会会長として報告する。当日はブースでまわし読み新聞や、来場者がどこから来たのか市の地図にシールを貼ってもらう物も作った。来場者はやはり近隣の方が多かった。カルフェスも含めてPRの方法を考えた方が良かったと思った。

委員：10日の昼から来たが、一日目は45人シールを貼ってくれた。2日とも大体同じ人数が来てくれた。日曜日はもう少し多いかなと思ったが、一人ひとりとゆっくり話が出来てよかった。来場者にいぶき野近辺の人が多かったのが市に住み始めて10年以内の人が多数。会場に来た人のほとんどが、友人などの作品を見に来ている。受講を決めるにあたっては、広報も大事だが、最後は受講生と直接話す口コミで決意するのではないかなと思った。

意見交換（各種団体の活動について）

委員長：事務局から説明願います。

事務局：前回の会議で、子ども会等の話で非常に盛り上がった。本委員会には、市の様々な団体から出ていただいており、良い機会なので、各団体の活動等についてお話いただき、今後の活動へ生かせることがあれば持ち帰っていただきたい。

⇒各団体活動報告（資料8参照）（文化協会、PTA協議会、こども会育成連絡協議会、こども会リーダークラブ、青少年指導員協議会、体育協会、いずみ識字ボランティアの会）

その他

委員長：事務局、または委員から報告事項などないか。なければ、これをもって、本日の生涯学習推進委員会を終了します。ありがとうございました。

以上